

自治体のみなさまへ

化粧品びんは貴重な資源です もっとリサイクルへ！

化粧品びんリサイクルの背景と開始からの経過

背景

従来、化粧品びんには、いろいろな素材があるため、ソーダ石灰素材のびんを取り出して、リサイクルすることは困難でしたが、乳白色のびんを除いて、リサイクルすることが可能になりました。

リサイクル開始からの経過

平成19年4月から「化粧品びんリサイクル」を本格化しましたが、令和4年3月時点の取り組み状況を調査するために実施したアンケートでは、回答自治体数1,179の内、化粧品びんを資源として収集されているのは621自治体（自治体数比：53.0%、人口比：53.2%）となっています。当促進協議会は、さらに多くの自治体が「化粧品びんリサイクル」に取り組まれるよう、推進してまいります。

分別収集の対象品目に加えることをご検討ください！

空きびんを「びんtoびん」でリサイクルすると、何度でも新しいガラスびんをつくることができます。

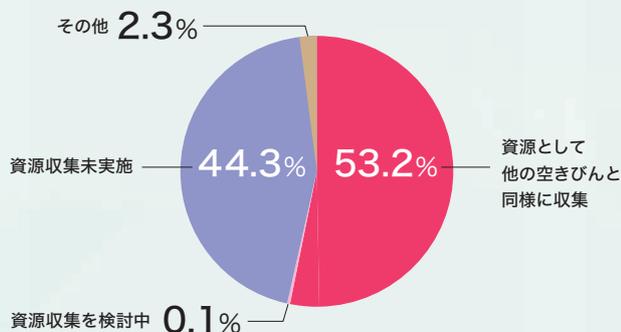
空きびんを砕いたカレットを原料に使用することで、大切な天然資源が節約できるだけでなく、エネルギーの節約にもつながり、CO₂排出量の削減や地球温暖化の防止に役立ちます。

この機会に、貴重な資源である化粧品びんを、ぜひ対象品目に加えてください。

化粧品びんリサイクルのご検討については

再商品化を委託されているカレット事業者にご連絡ください

アンケート 「化粧品びんのリサイクル」について【人口比】



回収数：1,179自治体 / 1,741自治体
回収率：67.7%（自治体数ベース）
82.4%（人口ベース）
実施期間：2022年3月

※詳細は、当促進協議会のWebサイト「全国自治体ガラスびんリサイクル調査」で、ご紹介しています。

https://www.glass-3r.jp/3r_suishin/r_current/index.html



 ガラスびん3R促進協議会

〒169-0073 東京都新宿区百人町3-21-16 日本ガラス工業センター1階 TEL.03-6279-2577 FAX.03-3360-0377

<https://www.glass-3r.jp>



空きびん以外のものを混ぜない！

ガラスびんリサイクルで利用できないもの

ここに掲載しているものは、新しくつくるガラスびんの強度や品質に大きく影響するため、混ぜないでください

耐熱ガラス



耐熱ガラス製の調理器・食器・哺乳びんはガラスびんと成分が異なります。

陶磁器



茶碗・湯のみ・皿・鉢やコーヒーカップなどの陶磁器類は、混ぜないでください。

- 陶磁器と似ている乳白色ガラスも、混ぜないでください。
- セラミック製のミルの刃は、取り外してください。

照明・建材用ガラス



いろいろな種類の電球類、蛍光灯や板ガラスは、ガラスびんと成分が異なります。

ガラス食器



クリスタルガラス製のコップ、ボウル、皿、花びん、灰皿はガラスびんと成分が異なります。

キャップ



金属キャップ、アルミキャップ、プラスチック製の外キャップやコルク栓は、取り外してください。

薬品びん



農薬や劇薬などが入っていたびんは、リサイクルする際、有毒なガスを発生することがあり危険です。
●飲み薬が入っていたびんは、リサイクルできます。

